

5 領域（言語・コミュニケーション）とのつながりを明確化した支援内容

●項目	●ねらい
言語・コミュニケーション	①言語の形成と活用 ②言語の受容及び表出 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上 ④コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数等の概念形成の習得
●具体的な支援内容	
<p>【言語の形成と活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事物や体験とことばの意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 <p>【受容言語と表出言語の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しことばや各種の文字・記号・ツール等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 ・ふりかえりなどを通して他者に伝える経験を積む。 <p>【他者との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々に配慮された場面における他者との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 <p>【コミュニケーションツールの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 ・ツールの使用にあたっては適切に評価をし、活用の見直しをする。 <p>【読み書き能力の向上のための支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいの子どもなど、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援・評価を行う。 <p>【ソーシャルスキルトレーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え方、伝える場面などを視覚化して提示したり、ロールプレイを通して学んだりする。 	